

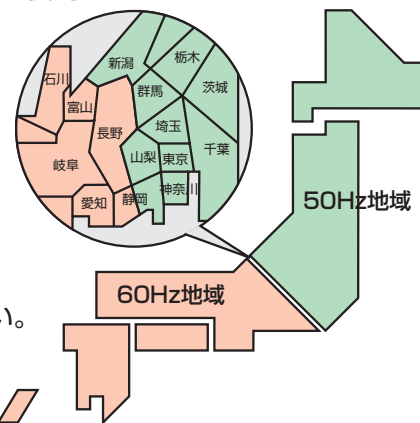
取り扱い上のご注意

このカタログの掲載商品は、面板製作、組み立て、メンテナンス対応可能で知識のある専門業者様向けの商品となっています。ご購入、設計への導入につきましては、充分ご考慮願います。

電気器具商品(内照パネル・電飾スタンド)の取り扱いについて

取り付け・設置に際して

- 1 取り付けは専門知識のある業者の方にご依頼ください。電気工事は必ず電気工事業者にご依頼ください。感電やショートの原因となります。屋内用商品は、屋外では使用しないでください。
- 2 環境条件に留意し、次のような場所では使用しないでください。
落下、感電、火災、故障の原因となります。
 - ・直射日光の当たる場所や、熱器具の近くなど高温になる場所(周囲温度10℃～40℃の範囲内でご使用ください)
 - ・湿気の多い場所 ・振動の多い場所
 - ・スプレー・ラッカー・ガスなど引火性のものの近く
- 3 器具を埋め込みにて設置する場合は、器具の周囲、裏面に必ず空気の流れできる放熱空間を設けてください。面板等の変形や、電気部品の故障原因となります。
- 4 表示された電源電圧、周波数以外の電源で使用しないでください。
50Hzの地域で60Hz用器具を使用すると、ランプ電流が増加し、焼損を引き起こす恐れがあります。また60Hzの地域で50Hz用器具を使用すると、ランプの不点灯や短寿命につながります。
- 5 定格入力電圧100V電源電圧の変動は、±6%の範囲内でご使用ください。
 - ・器具を取り付けされる前に、必ず点灯確認を行ってください。
 - ・他の機器との同一電源(集合電源)において一括電源投入された場合、以下のような原因によりインバーターが故障することがあります。電気工事士にご相談の上、専用電源・ノイズ対策器具・サージプロテクター等の対策器具を導入ください。
例：エレベーター・空調・冷蔵・冷凍・ショウケース等ノイズ対策されていない機器からのノイズの侵入
電気回路系統の過渡現象による開閉サージの侵入 調光器・節電装置との併用によるパルス電圧の印加
- 6 電気器具商品を取り付け(施工)する際に、器具への後加工(穴あけ、金具の取り付け)での切り屑や器具の変形は、故障の原因となります。
- 7 一次側の接続は確実に行ってください。接続不良をおこすと故障、事故や損害の原因となります。
- 8 電飾スタンドの設置について
人通りや周囲の状況に配慮し、電源コードが通行の妨げにならない様にして、安全な場所に設置してください。
転倒や移動による事故防止のため、凹凸や傾斜のない平らな床面に設置し、キャスターの付いている場合は必ずロックしてください。
屋外でご使用の際は、重りをのせる等の対策を行ってください。
屋外では防水コンセントに接続してください。アース線は確実に取り付けてください。
強風で倒れたり、動く可能性のある時は、風の当たらない場所に移動してください。



ご使用に際して

- 1 器具や部品の改造はしないでください。
電気部品の故障原因となるだけでなく、落下、感電、火災の原因にもなります。
- 2 器具を布・紙等で覆わないでください。
損傷、火災の原因となります。
- 3 器具をめれた手でさわったり、器具のすき間に金属類(針金、ピン等)を差し込んだりしないでください。
感電の原因となります。
- 4 器具の点灯(ON・OFF)は、必ず器具付属のスイッチで行ってください。
損傷、火災の原因となります。
- 5 インバーターや器具の近くに、マグネットを近づけないでください。
故障の原因となります。

お手入れに際して

- 1 定期的に点検をしてください。
 - ・パネルのゆがみ、ガタつき、錆、腐食、または安定器や配線等に異常がある場合は、すみやかに専門業者の方に交換を依頼してください。
- 2 蛍光灯ランプやグロースターターは交換が必要です。
 - ・交換時は器具やランプの破損及び不点灯などが生じやすいため、お買い求めの販売店へご依頼ください。
 - ・ランプやグロースターターが寿命になると、管端が黒くなったり、点滅を繰り返したりします。早めにお取り替えください。放置すると安定器をいためる原因となります。
 - ・ランプやグロースターターは、器具に表示されている種類及びワット数のものをご使用ください。
 - ・LEDランプは一般店では販売しておりません。ランプの不点灯、暗くなってきた場合などはお買い求めの販売店へお問い合わせください。
 - ・本体一体型のライティングパネルは、ランプ交換などメンテナンス対応できません。
- 3 ランプ交換や器具のお手入れは、必ず電源を切ってから行ってください。
 - ・電源がついたままだと感電の原因となります。また電圧事情の悪い地域ではランプ不点灯の原因となります。
 - ・ランプ交換や器具のお手入れの際、点灯中や消灯直後はランプが高温になっていることがありますので、さわらないでください。やけどの原因となります。(消灯後5分以上置くことをおすすめします。)